

政務活動費 のゆくえ

政務活動費とは、議員が通常の議会活動とは別に、それぞれの会派または議員個人が議員としての知識向上や見聞を広めたり、資質向上を図るために交付される調査研究費です。

令和2年度の交付額は1人年額12万円。先進地への調査や研修会への参加、議員活動に必要な事務機器の購入等に使っています。収支報告書には証拠書類などの写しを添えて報告しています。

令和2年度の主な使途は、次のとおりです。

会派	所属議員名	事業費	交付額	主な使途	活動内容等
幸風会	杉浦あきら 笹野 康男 都築 一三 足立 初雄 藤江 徹 廣野 房男 黒木 一 伊澤 伸一 鈴木 久夫 都築 幸夫 石原 昇	1,037,789円	1,320,000円 (内282,211円返還)	【研究研修費】 地方議会総合研究所、 自治体議会研究所 【調査旅費】 静岡市麻機遊水地視察 【資料費】 住民啓発用持ち出し袋、 プリンターインク、住 宅地図等	<ul style="list-style-type: none"> 地方議会議員セミナー「適正な議員定数の決定手法を考える」 自治体議会特別セミナー in三河「議員の資質向上と政務活動費活用策」 静岡市「あさはた緑地」「麻機遊水地第1工区・第3工区」
—	丸山千代子	122,180円	120,000円	【研究研修費】 全国市町村国際文化研 修所、自治体議会研究所 【資料費】 住民啓発用持ち出し袋、 プリンター、書籍年間 購読料、書籍購入費	<ul style="list-style-type: none"> 全国市町村国際文化研修所「自治体決算の基本と実践」「町村議会議員特別セミナー」「地方分権と自治体の行政改革」「防災と議員の役割」 年間購読料「住民と自治」 書籍「子育て世代が住みたいと思うまちに」
—	水野千代子	113,667円	120,000円 (内6,333円返還)	【研究研修費】 全国市町村国際文化研 修所、自治体議会研究所 【資料費】 住民啓発用持ち出し袋、 書籍購入費、プリンター 用紙、プリンターイン ク	<ul style="list-style-type: none"> 全国市町村国際文化研修所「自治体決算の基本と実践」「町村議会議員特別セミナー」「地方分権と自治体の行政改革」 書籍「子育て世代が住みたいと思うまちに」他
—	田境 毅	102,802円	120,000円 (内17,198円返還)	【研究研修費】 全国市町村国際文化研 修所、自治体議会研究所 【資料費】 住民啓発用持ち出し袋、 書籍年間購読料、プリ ンターインク	<ul style="list-style-type: none"> 全国市町村国際文化研修所「町村議会議員特別セミナー」「地方分権と自治体の行政改革」 年間購読料「日経ビジネス」
—	稲吉 照夫	93,022円	120,000円 (内26,978円返還)	幸風会と同じ	幸風会と同じ

委員会
レポート

総務教育常任委員会 押印の廃止が進む 行政手続き

5月24日
協議会開催

総務省から押印廃止など行政手続きの見直しを徹底的に取り入れるよう通知されている。本町に於いても、令和3年3月末現在、押印を廃止した手続きが801件中92・3%の739件出来た。

問 国の試算では99%以上廃止が出来るとしているが可能か。

答 上位法令や契約の問題もある。デジタル化が進み、電子証明や本人確認が出来れば更に進む。

問 手続きの簡素化に町民は喜んでている。更なる取組みを。

答 内部手続きの改善も進める。令和3年9月末にも状況報告をする。

空き家活用事業の推進状況

「第2期幸田町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の一貫として「つながる人と地域を育てる」

「第2期幸田町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の一貫として「つながる人と地域を育てる」

などを目指して取り組んでいる。

問 荻谷地区の空き家利用は、「空き家等対策協議会」に諮られたのか。

答 諮っていない。町が地域開発のため執った政策。

問 議会の附帯決議に則った進め方をしているか。

答 まず地元説明会を開き地域全体で取り組むことを確認した。地元ワークショップの予定は。

答 設計業務が進んだ段階で考える。

(その他14項目を協議)



委員会
レポート

福祉産業建設常任委員会 新生児特別給付金を 延長支給

5月21日
協議会開催

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化していることから事業を1年延長し、支給対象児を令和4年4月1日生まれまでに拡大した。

引き続き本事業を、コロナ禍における妊娠、出産、育児を迎える家庭に対し、経済支援、子育て支援サポートなど出来るよう推進していく。

○令和2年度実績
対象人員330人
支給総額1650万円

蒲郡市幸田町衛生 組合会計予算

令和3年度蒲郡市幸田町衛生組合会計予算の概況の報告があった。

○歳入歳出予算総額
3億1075万円

主な内訳は、両市町の分担金および負担金（火葬場・し尿処理）である。全て負担割合は人口比による。

土地区画整理事業

荻谷地区の区画整理事業が計画されている。

問 進展の状況は。

答 現在、地権者114人の内89%の同意を得ている。予定面積は14・8ha。今後、様々な問題（排水問題、道路事情など公共施設）を把握していく。

(その他7項目を協議)



蒲郡市と共同運営の葬場「セレモニーホールとぼね」